

6. 情報社会と情報の価値

- ◆ 6-1 社会構造の変化
- ◆ 6-2 情報社会のイメージ
- ◆ 6-3 社会の価値の中に占める情報の価値
- ◆ 6-4 個人における情報の利用
 - (1) 知ること (2) 判断すること (3) 利用分野
- ◆ 6-5 地域・社会における情報の利用
- ◆ 6-6 組織における情報の利用
- ◆ 6-7 国レベルの情報の利用
- ◆ 6-8 情報社会における情報の価値の特徴

1

6-1 社会構造の変化

- ◆ 社会の変化
 - (1) 狩猟社会
 - (2) 農耕社会
 - (3) _____社会
 - (4) 情報社会

2

(1) 狩猟社会

- ◆ 自然から生活に必要な物を入手していた
- ◆ 社会の価値
 - ほとんど_____の価値
- ◆ 生きるために必要な本能的な欲求を満足させるため努力が必要な社会
 - 一次欲求
- ◆ 情報は物入手するために必要
 - 食料はどこで手にいるか

3

(2) 農耕社会

- ◆ 農耕技術の進歩により定着した生活が可能となる
 - 人類が個体や種族の維持のために必要な食料が安定して入手できるようになった社会
- ◆ 社会の価値
 - _____の価値
- ◆ 本能的な欲求（一次欲求）が満たされた社会
 - 狩猟社会に最も重要であった欲求が満たされた
- ◆ 情報は収穫を向上させるために必要
 - 農耕技術/天気予報

4

(3) 工業社会

- ◆ 産業革命により経済秩序への転換が起った
 - 18-19世紀: 農業から工業を基礎とする社会
 - 人や会社に利益をもたらす経済的価値が主体となる
- ◆ 社会の価値
 - 物の価値 + _____の価値 (労働の代替物)
 - エネルギーの価値の割合が高くなる
- ◆ _____的欲求が満たされるようになった社会
 - 農耕化社会に不足していた物質に対する欲求 (二次欲求) が満たされた社会
- ◆ 情報は生産効率を上げるために必要
 - 最適な生産技術/方式、最適な生産量

5

(4) 情報社会と情報化社会と知識基盤社会

- ◆ 情報により価値を生産するようになった社会
 - 工業社会と対応する概念
- ◆ 社会の価値：
 - _____の価値 > 物の価値 + エネルギーの価値
- ◆ 情報社会と知識社会
 - 経済活動と情報の関係で使用されることが多い
 - 個人と情報との関係で使用されることが多い
- ◆ 工業化社会に不足していた_____的な欲求が満たされるであろう社会

6

6-2 情報社会のイメージ

- ◆ Information Society
- ◆ (1) _____を生産する要素が物質、エネルギーから情報へ移る社会
- ◆ (2) 脱_____社会
- ◆ (3) 情報が正当な価値を持つ社会
- ◆ (4) _____の生活が快適になる社会
- ◆ (5) _____の手段が進歩し情報の交換が容易になる社会 ICT

7

(1) 価値を生産する要素が物質、エネルギーから情報へ移る社会

- ◆ 経済中心の観点
- ◆ 価値の_____以上が情報によって作られる
 - _____生産額の半分以上が作られる
 - 物質, エネルギーに比べて、情報の重要性が高くなる
- ◆ 大量の_____が不断に生産、蓄積、伝播される社会
 - コンピュータによる迅速な情報処理
 - 多様な通信メディア
 - 広範な情報伝達
 - 通信とコンピューター技術の飛躍的な発達が背景

8

(2) 脱工業社会

- ◆ post-industrial society、経済中心の観点
- ◆ 工業社会との対比
 - _____の「生産、貯蔵、運搬、消費」などが中心となった社会から、
 - _____の「生産、貯蔵、伝達、消費」などが中心となった社会へ
- ◆ 物の生産から情報の生産へ重点が移行した社会
 - 情報により付加価値を生産する産業が、_____やで50%以上を占める
 - 情報を使って情報を生産する：知識産業、情報産業

9

(3) 情報が_____な価値を持つ社会

- ◆ 情報そのものが_____な価値を持つ
 - これまで情報にお金を払う習慣は、日本では殆どなかった
 - 情報の価値が_____に評価されて、取引きの対象とされる
 - ソフトウェア、著作物など
- ◆ 情報の価値を_____に評価できる社会

10

(4) 個人の生活が快適になる社会

- ◆ _____の観点
 - 情報化社会はさまざまな便利をもたらし、個人の生活を快適なものにしていく
 - 多くの情報の存在と利用環境の実現は、最適のを可能にする
- ◆ 個人が情報を所有し自身の生活の向上、社会への貢献に使える
 - 情報社会では一部の人間や集団が情報を独占できなくなった
 - _____の実力を発揮しやすくなった社会
- ◆ 個人の_____的欲求に応えることのできる社会
 - 情報の活用が精神的欲求を満たす → 6-4

11

(5) コミュニケーション技術の進歩により情報の交換が容易になる社会

- ◆ 通信技術の進歩
 - 携帯電話
 - インターネット
- ◆ _____社会
 - 地球市民
 - 24時間稼働
- ◆ _____ネットワーク社会
 - いつでも・どこでもアクセスできる

12

問1

- ◆ Q1工業社会の説明と異なるものを選択しなさい
 - ①農耕社会の次の社会②産業革命で成立した③エネルギーの価値が大きくなった④物質的な欲求を満たすことができる社会⑤物の価値が大きくなった
- ◆ Q2情報社会の説明と異なるものを選択しなさい
 - ①工業社会の次の社会②情報通信技術の進歩で成立した③情報の価値が大きくなった④精神的な欲求を満たすことができる社会⑤エネルギーの価値が大きくなった

13

問1の2

- ◆ Q3情報社会のイメージと異なるものを選択しなさい
 - ①社会の価値がエネルギーから情報へ移る②情報の交換が容易になる社会③情報が正当な価値を持つ社会④個人の生活が快適になる社会⑤コミュニケーションが容易になる社会
- ◆ Q4脱工業社会のイメージと異なるものを選択しなさい
 - ①情報の生産、貯蔵、伝達、消費などが中心となった社会②物の生産から情報の生産へ重点が移行した社会③情報により付加価値を生産する産業がGNPの50%以上を占める社会④情報を使って情報を生産する社会⑤情報産業従事者数が全体の50%以上を占める社会
- ◆ Q5正当な価値を持つべき情報に該当しないもの
 - ①ソフトウェア②著作物③音楽CD④調査報告書⑤広告

14

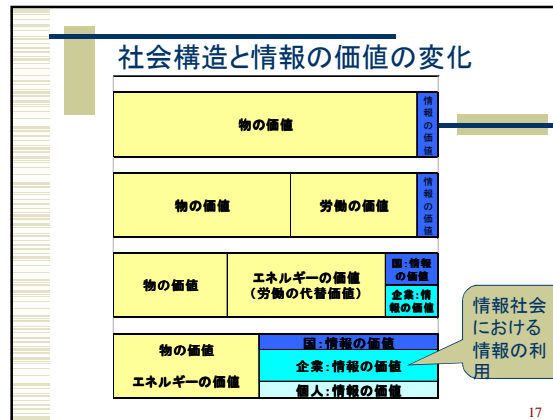
6-3社会構造の変化と情報の価値

- ◆ (1) _____、_____による情報の利用
 - 国家間、部族間の競争、戦争に勝つこと
 - 国家の立場を他国より優位にすること
 - 国家、部族を統治すること、社会を維持すること
 - 情報は有効に活用されてきた
- ◆ (2) _____、_____における情報の利用
 - 地域のまとまりは通常は緩やかかつながら
 - 情報の利用は少なかった

15

- ◆ (3) _____、_____による情報の利用
 - 目的が明確（なため情報の利用は活発
 - 利益を上げること
 - 企業間競争に勝つこと
 - 開発競争に勝つこと
- ◆ (4) _____における情報の利用
 - まず_____が個人にとって重要
 - 次に自分で_____、_____すること
 - 知るによりどんな相手に対しても対等に考えることができる

16



6-4個人における情報の利用 知識基盤社会の視点

- ◆ (1) まず知ることが個人にとって重要
 - 知るにより個人的興味を満足させることができる
- ◆ (2) 次に自分で考え判断すること
 - 知るによりどんな相手に対しても対等に考えることができる
- ◆ (3) 想定される個人の情報利用分野
 - 個人の_____的欲求に応えることのできる社会
 - _____（意志の達成）

18

(1) 情報を知ること

- ◆ 現状を知ること
 - 個人の情報利用で最も必要なのはまず現状を知ること
 - 現状・事実を知らなければ他人と_____で考えることすらできない
- ◆ 個人にとって「競争に勝つために使う場合」は少ない
 - 現状を知らなければ競争に勝つどころか、知っている人に比べ_____を受ける

19

- ◆ 情報社会で知ることの_____が低くなった
 - 個人の情報利用は情報社会で可能になった
 - 国は国家が成立した時から情報を利用
 - 企業は企業活動が始まった時から情報を利用
- ◆ 個人でも入手できる情報が増えた
 - _____・_____と対等に情報を入手できる
 - 情報社会では個人のために情報を利用できる

20

(2) 自分で考え判断すること

- ◆ 知ることによって_____ことができる
 - 知ることにより適切な判断が可能になる
 - 個人が、_____・_____と対等に対話・交渉できる
- ◆ 多くを知ることにより_____判断が可能になる
 - 自己実現の可能性がより高くなる
 - 画一化から、多元化、個性化、個別化へ

21

- ◆ 現状を知ることができないと_____や_____ができない
 - フィブリノゲンの投与による薬害c型肝炎
 - アスベストによる中皮腫又は肺がんの発症
 - 血液凝固因子製剤（非加熱製剤）使用によるHIV感染
 - ダイオキシンによる大気汚染
 - 輸入牛肉と狂牛病の危険性
 - 賞味期限のラベル張替え
- ◆ 個人でも国との交渉が可能になってきた

22

問2

- ◆ Q1 国による情報の利用に該当しないものを選択する
 - ①戦争に勝つこと②国家間の競争に勝つこと③国家の立場を他国より優位にすること④利益をあげること⑤国家を統治すること
- ◆ Q2 企業による情報の利用に該当しないものを選択する
 - ①利益を上げること②企業間競争に勝つこと③商品開発
 - ④経営戦略の策定⑤個人情報の活用
- ◆ Q3 個人における情報の利用で重要でないこと
 - ①知ること②教えること③自分で判断すること④自己実現
 - ⑤自分で考えること

23

(3) 想定される個人の情報利用分野

_____の欲求階層との対応

The diagram shows a pyramid with five levels, each with a Japanese label and an English translation:

- Top level: 自己実現の欲求 (The need for self-actualization) / 不足への欲求と成長への欲求の実現
- Second level: 尊敬の欲求 (Esteem needs) / 他人からの尊敬respectと自己への尊敬esteem
- Third level: 愛と帰属の欲求 (Love and belonging needs) / 友人・恋人・家族の欠如による苦痛からの開放
- Fourth level: 安全・安心の欲求 (The safety and security) / 恐怖・心配・混乱からの開放
- Bottom level: 生理的欲求 (The physiological needs) / 生きるために必要な欲求: 水・食品

Maslowの欲求階層
Maslow's Hierarchy of Needs

- ◆ 自己実現への欲求 (Maslowの最終段階)
 - 意志の実現
 - _____への欲求と_____への欲求に情報を利用
 - 経済価値生産のためだけでなく、個人の質の高い生活を実現するために情報を使うことができる
 - 物質的欲求から精神的欲求の満足へ
- ◆ 目的が達成されると次の欲求が生じる
 - 自己実現に終わりはない

25

自己実現のために想定される分野

- ◆ 情報社会において情報は、自己実現という精神的欲求を満足させるための価値を持つ可能性が高い
 - A. _____分野
 - B. _____分野
 - C.精神分野
 - D.趣味・娯楽分野

26

A. 学習分野

- ◆ 学習分野
 - _____的、_____的な専門_____と
 - 家事など日常生活に関する知識と技術
- ◆ 知識、技能、_____を修得する分野
 - 知的欲求、意志の形成、意志の実現に必要な
 - 人は知らないことがあると知りたいと思う
- ◆ _____分野
 - 生活に役立つ知識や技術
- ◆ 教育分野
 - 自分の知識を他人に教える
- ◆ 自己創造分野

27

B. 教養分野

出展：室伏武1992

- ◆ 一般教養を得る
- ◆ 教養分野
 - 単なる知識ではなく、人がその_____を精神的、全人的に開花、発展させるために学び養われる学問や芸術
- ◆ 文化分野
 - 社会の_____、主に精神的な活動から生じたもの
 - 学問、芸術、言語、習俗、道徳、宗教など
- ◆ _____分野
 - 自然、芸術などの美的現象を**対象として**学問

28

C.精神分野, D.趣味/娯楽分野

- ◆ C. 精神分野
 - 信仰や心の豊かさ、生きることなど精神世界を形成する_____分野
 - 世界や人間についての知恵・原理を探求する学問
 - _____分野
 - 正しい思考の形式や法則を研究する学問
 - 宗教分野
- ◆ D.趣味・娯楽分野
 - 精神に安らぎを与える_____分野
 - ゆったりとした気分でくつろぐこと
 - _____分野
 - 心を慰め楽しむこと/商業ベースのものが大半
 - _____分野
 - 専門ではなく楽しみに行うこと (スーバー大辞林)

6-5 地域・社会における情報利用

- ◆ A. _____分野
 - 共感者グループの創造
 - 個人の意志を伝える価値、意志を共有できる価値
 - ソサイアティー/アソシエーション(協会)
 - 特別な目的を持ち、目的達成のため行動する
- ◆ B. _____分野
 - ボランティア・福祉活動
 - NGO(非政府組織)・NPO(非営利組織)活動
 - 他人や社会に役立つ価値
- ◆ C. _____分野
 - 人類の知識資産を組織的に次世代へ伝達する

30

地域・社会における情報利用と個人

- ◆ 個人の情報利用から社会活動のための情報利用へ
 - 個人の受動的な情報利用から情報発信/コミュニケーションをとまなう能動的な情報利用へ
 - 企業・組織の意志による情報利用とは異なる
- ◆ _____が個人の自己実現に結びつく
 - 娯楽、休息から趣味へ
 - 余暇・レジャーからレクリエーションへ
 - 個人の活動から地域社会・グループの活動へ
 - 自分のための活動から他人・社会のための活動へ
- ◆ 個人と社会の情報利用価値の一致

31

6-6組織における情報の利用 情報社会の視点

- ◆ 企業における情報の利用
 - 利益を上げる
 - 価値を創造する・効率化を図る
 - 競争に勝ちたい場合に最も情報の価値が高くなる
- ◆ 新しい_____の創造
 - これまで存在しなかった物、機能、方法の創造
 - 新規ビジネス/新商品開発
 - 研究開発、技術開発分野
- ◆ _____の蓄積
 - 知的所有権:特許、工業所有権、意匠、商標
 - 著作権 : 著作物

32

6-8情報社会における 情報の価値の特徴

- ◆ (1) 企業活動の_____をなす
 - 経済的価値を創造・グローバル化の実現
 - 企業_____・企業の社会的_____に関する情報の増大
 - コンプライアンス (法令遵守: 企業倫理も含む) - 不正表示
 - コーポレート・ガバナンス (企業統治: 企業による意思決定の仕組み)
 - アカウンタビリティ-accountability / 内部統制 (SOX法)
 - 製造物責任法 (PL法 product liability law) / リコール
- ◆ (2) 自己実現欲求を_____
 - 多量の、多様な情報から必要な情報を見つけ出し、意図・目的を形成し、的確な判断を行なう
 - 自己実現の可能性・水準を高める
 - 社会への貢献

33

- ◆ (3) 情報の_____と_____による価値の創造
 - 情報発信は情報の効率的に収集や、個人の社会活動につながり自己実現に結びつく
 - 情報の共有により新しい価値観を生み出す
- ◆ (4) _____の価値観と_____の価値観の接近
 - 個人による情報の入手・判断が容易になった
 - 個人の意志・意志に基づく目的の重要性
 - 個人レベルの判断に近づく判断が求められる
- ◆ (参考) 情報を扱う上で重要な意味を持つ単語
 - Will
 - Goal
 - Criteria

34

問3

- ◆ Q1 自己実現のため想定される情報利用の分野に該当しないものを選択しなさい。
 - ① 学習分野 ② 職業分野 ③ 精神分野 ④ 趣味 ⑤ 教養分野
- ◆ Q2 地域・社会における情報利用に該当しないものを選択しなさい。
 - ① コミュニティ活動 ② 社会貢献活動 ③ 教育活動 ④ 個人の趣味の活動 ⑤ 個人の能動的な情報活動
- ◆ Q3 Maslowの欲求階層で最も上位に来る欲求は何か
 - ① 自己実現欲求 ② 尊敬欲求 ③ 愛と帰属欲求 ④ 安全安心欲求 ⑤ 肉体的欲求

35

- ◆ Q4 情報社会における情報の特徴に該当しないものを選択しなさい。
 - ① 国を統治するために利用される ② 企業活動の基盤をなす ③ 自己実現欲求を実現する ④ 情報の発信と共有による価値の創造 ⑤ 個人の価値観と組織の価値観が接近する
- ◆ Q5 企業活動にとって最近必要性が増している情報である。該当しないものを選択しなさい。
 - ① 生産の効率化 ② 知的所有権 ③ コンプライアンス ④ 企業倫理 ⑤ 内部統制 (SOX法)

36

6-9. 情報をめぐる問題点 犯罪等の事例と対応

- ◆ [被害者になる場合]
 1. 一方的に受動的な情報で被害にあう場合
 2. 普通の情報を装っているが悪意の意志が含まれている
 3. 個人情報
 4. セキュリティー
 5. 他
- ◆ [加害者になる場合]
 1. 著作権の侵害
 2. 倫理に反する
 3. 個人情報
 4. 犯罪(犯罪の認識が希薄)

37

[被害者になる場合] 1. 受動的な情報で被害にあう場合

電話セールス	14	3	電話による勧誘、電話によるセールス(なれなれしく若い男性から電話による商品セールス・家庭教師の案内)、携帯電話へのセールス電話
迷惑電話	7	5	知らない相手からの電話、迷惑電話、不審な電話
架空請求郵便	6	3	身に覚えのない請求、架空請求、利用していないサイトの請求はがき
架空請求メール	2	1	架空請求メール
キャッチセールス	1	5	キャッチセールス、街頭、勧誘、新海駅などでエステの勧誘
いたずら電話	1	1	非通知のいたずら電話、無言電話

する
 しない
 にしない
 拒否

38

2. 普通の情報を装っているが悪意の意志が含まれている

ネットショッピング	7	8	ネットオークション詐欺、インターネットでショッピングでお金を払ったのに商品が届かない、購入した商品が偽物、サイズが合わない・画像と異なる・返品できない
詐欺	8	5	ワンクリック詐欺(携帯の有料サイトの)
詐欺		3	結婚詐欺
詐欺		2	出会い系サイトのさくら
偽物		2	偽造商品や誇張宣伝商品の販売、偽ブランド品の購入

しない
 おく
 する

39

3. 個人情報、個人宛情報

eメール	25	4	迷惑eメール(出会い系、オークションサイト、アダルトサイト)、スパムメール、メルマガ
eメール	7		チェーンメール
eメール	4		ダイレクトメール(郵送)、教材の勧誘郵便
個人情報	2	1	自分に関係のある機関や人をよそおって電話等で個人情報を引き出す
個人情報	1	1	個人情報の漏洩 携帯番号が出会い系サイトに出る
掲示板	1		掲示板への業者の書き込み
掲示板		2	掲示板で中傷を受ける

対応しない
 変更
 拒否
 自分のところで止める
 電話を 確
 認する
 電話で 情
 報を教えない

40

4. セキュリティー 他

ウイルス	3		メールからのウイルス感染
ウイルス	2		Webページ、ポップアップからのウイルス感染
不正アクセス	1	3	コンピュータへ不正にアクセスされる
ウイルス	1		ファイルのダウンロードによるウイルス感染
宗教の勧誘	2	3	宗教団体の勧誘、友達をよそおっての宗教勧誘
契約書		1	内容を確認せずに契約書にサインをする

ファイアーウォール
 や
 を使用する
 セキュリティーの設定
 をしっかりする
 仕組みをよく理解する

41

[加害者になる場合] 1. 著作権の侵害

不正ダウンロード	6	3	不正な音楽ファイルのダウンロード、mp3/mp4ファイルのダウンロード(最近ではPCからのダウンロードやレンタルからのコピーが当然になっている)
CD、DVDの不正コピー	5	1	DVD・ビデオをコピー・ダビングし友達に貸す(最近ではPCからのダウンロードやレンタルからのコピーが当然になっている)、CDをコピーして売る
無断引用	3	7	本やネット上の他人の文章のコピー、無断引用・使用、レポートを書くときに参考文献の表示をせず文章だけ貼り付ける、盗作
CD、DVD	2	4	海賊版CD、DVDの購入、中国で海賊版を購入
(参考) HPへの無断引用	1		○リッピングしてCDを作成 4 著作権を侵害する著作物をホームページに無断で載せる、無断で他のサイトの情報を転載する

を守る
 URL(出典)を
 明記する
 情報の価値
 を認識する

42

2. 倫理に反する

チェーンメール	21	3	チェーンメール、迷惑メールの転送 携帯の転送メール 面白しので迷惑でなかった がシステムに負荷をかけていた
ウイルスメール	1	4	コンピュータウイルスを添付したメールを、ウイル ス感染を知らずに送る。ウイルスの付いたメー ルを誤って送ってしまった
会話	1		うわさ話
	1		ネカマ
	1		オークションのキャンセル
	1		他人の回答を自分の回答として提出
掲示板	1	5	掲示板で名指しの中傷や他人の名前など個人 情報の書き込みをする
掲示板	3	3	違法な/虚偽の書き込み
勧誘	3	3	ねずみ講の勧誘、テレポのバイトをする、ピラ 配り
掲示板	2	2	掲示板の(サイトの)あらし

の立場を
考える
チェーンメール
の内容を気
にせず他人
に送らない
消去する

43

3. 個人情報

個人情報	2	3	電話による個人情報の収集、高校の事務 員をよそおって友達電話番号を聞きだす
個人情報	1		他人お写メを本人の承諾なしに他人に送信
個人情報	1		自動車学校の友人紹介
個人情報	1		個人情報の取引
個人情報	1		アンケート調査で収集した個人情報を不正 アクセスなどにより漏洩する

- ◆ _____しない
- ◆ _____情報を
教えない
- ◆ 怪しいと思っ
たら応えない
- ◆ 意識が高く
なっている
(件数が少な
い)

44

問題ない事例

- ◆ 登録サイトに嘘の登録
- ◆ 音楽CDのパソコンでの個人利用
- ◆ YOU TUBEを見る
- ◆ 友人のHPへの無断リンク
- ◆ フリーソフトのダウンロード
- ◆ リッピングしてCDを作成し個人使用

45

必要な能力

- 自分で必要な情報を探して、自分で判断できるよ
うになることが、求められている能力
- 基本的な最低限の能力
 - 自己の_____や_____を守るため
 - 積極的な利用ではない
- 情報を積極的に活用する場合と同じ能力

46

質問

- 日本以外では情報に対価をはらっているか
- 情報社会の次は
- 非公開のページなら著作物の無断使用問
題ないか
- ダイレクトメールの住所をなぜ知っているか

47

試験

- A4 3枚
- 持ち込み禁止
- 3問

48

問1

- 問1

49

問2

- 問2A、問2Bから1問を選択しなさい。30点
- 問2A [人の行為と情報]人の行為と情報の関係について説明あるいは論ぜよ。
- 問2B [情報の活用]情報の活用段階について説明し、各段階で必要とされる情報リテラシーについて説明あるいは論ぜよ。

50

問3

- 問3C、問3Dから1問を選択しなさい。30点
- 問3C[情報社会と情報の価値]
- 情報社会における「個人と情報の関係」について、「国、企業、社会と情報の関係」と対比させて、説明あるいは論ぜよ。
- 問3D[情報をめぐる問題点]自分が著作権を侵害している場合と、情報に関して倫理的に問題のある行動をとっている場合の実例をそれぞれ3つあげ、それぞれに対する対応策と対応を考えるうえで必要な情報リテラシーをのべよ。

51